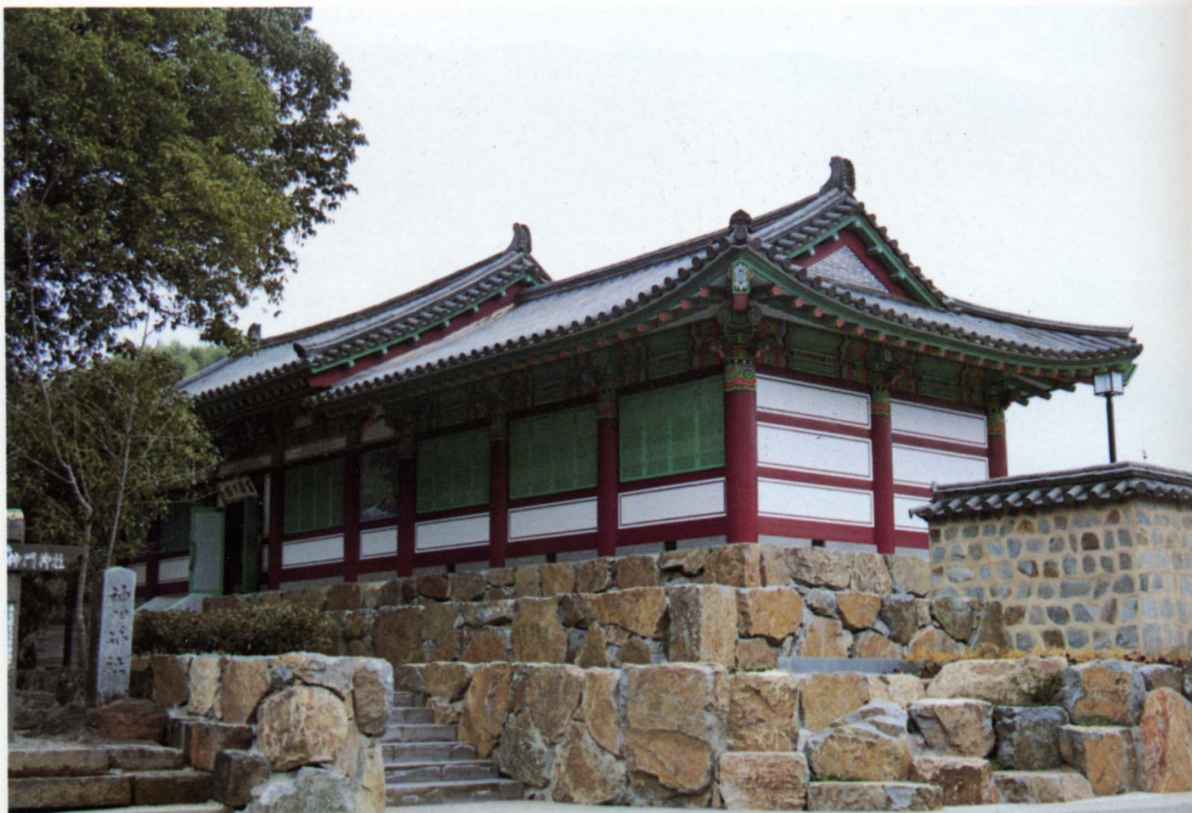




日韓交流のシンボル百済の館



DATA・BOARD 28



- ① 宮崎県東臼杵南郷村大字神門
- ② 面積265㎡
- ③ 百済の館、恋人の丘（百花亭）
- ④ 木造平屋建て、杉丸太材、韓国製瓦、敷焼レンガ
- ⑤ 師走祭り、百済の里の夏祭り、恋人フェスティバル、秋祭り、百済の里文化祭

南郷村では、村おこしのテーマとして昭和六十一年から「百済の里づくり」を行っており、以後、韓国との国際交流をはじめとするさまざまなイベントも開催されている。

この地は七世紀半ば、朝鮮半島で滅亡した百済王朝の人々が亡命したと伝えられ、百済の王族が役場近くの神門神社の祭神となっている。異国の地に眠る王族の霊を慰める祭りが百済の風習を残しているといわれ、韓国との国際交流のきっかけとなったもので、村おこしのテーマを百済の里づくりとした由縁でもある。

タンチョンと呼ばれる韓国風の配色を施した、韓国の国立扶餘博物館をモデルにした百済の館とともに恋人の丘（百花亭）が建設され、観光振興のみならず村おこしの活力となっている。